

事業者向け

児童発達支援/放課後等デイサービス自己評価表

2026narita

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースの関係で適切であるか	○			自由遊び、集団遊び、運動療育等、十分な広いスペースを確保している
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか	○			基準を満たし適切である 安全面を十分に配慮して支援をしている
	3	生活空間は子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切にされているか	○			生活空間は構造化している。バリアフリー対象施設ではないが、教室内はバリアフリー化している。トイレ入口（1.5cm）の段差と玄関の外階段の1段は必要に応じて付き添い（補助）の支援を行っている
	4	生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			感染症対策として日々使用したものは消毒を行い、清潔を保っている。十分な活動スペースを確保している為、広い環境で各活動が出来る
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	○			必要に応じて個別対応が可能となっている
	6	設備等へ安全を配慮した措置がなされているか（電灯やガラスの飛散防止・柱へ衝撃吸収材の取付・階段手摺など）	○			窓ガラスは網入りガラスを使用し飛散防止シートを貼っている。電灯は飛散防止のカバーを使用。下駄箱やテーブルカウンター等にもコーナーガードを取り付けている
業務改善	7	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			職員会議を開き、利用者様の近況報告や支援方法の確認、円滑な業務と安全に配慮した支援を行えるように職員全員で共通理解をしている
	8	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか	○			実施済み。ご意見は真摯に受け止め、今後の支援につなげていくように職員間で共有して改善策を出している
	9	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	○			日々情報共有はしており、最低月に1回職員会議を行って共通理解をしている
	10	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在は実施していないが、今後検討していく
	11	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			実施済み
	12	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			動画での運動研修や毎月実施している知識向上の研修などを実施している。レポートの提出とともに全職員へ共有する環境を整えている

適切な支援の提供	13	適切に支援プログラムが作成、公表されているか	○		作成しており、公表はHPで行っている
	14	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	○		各ご家庭との面談を定期的実施して、家庭と事業所の共通意識と理解を図り、日々の記録に基づき作成している
	15	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	○		行っており、記録も残している
	16	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか	○		行っている
	17	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか	○		契約時に保護者の皆様にもひとつひとつ確認をしながらアセスメントシートを記入している
	18	個別支援計画には、児童発達支援／放課後等デイサービスガイドラインの「児童発達支援／放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		実施済み
	19	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		利用者様の状況や特性等を鑑みて立案を行っている
	20	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○		本部指導の月毎の支援内容を基軸に、学校の体育内容を聞きながら楽しく練習が出来るようなプログラムを取り入れるようにしている
	21	活動場面ごとに課題を決め、設定して支援しているか	○		日々の支援の際にも課題を設定するとともに各イベントの際には、企画書を作成して目標や課題を決めて支援している。また、保護者宛文書を作成して、活動の目標や内容、時間配分等も提示して安心して頂けるように配慮している
	22	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか	○		保護者の皆様と面談をさせて頂き連携を取った上で、モニタリングを行い作成をしている
	23	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか	○		運動リーダー、ブログ担当、送迎担当等の役割分担が多岐にわたるため、会議や視覚的に理解出来るように確認及び共有している。変更点や共有点が出た際は朝夕で確認をしている
	24	支援終了後には、職員間で打合せを行い、その日行われた支援を振り返り、気づいた点を共有しているか	○		帰りの送迎後や翌日に活動中の変化や気付きを共有して職員が周知の事実になるように状況を伝えるようにしている
	25	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		支援内容は日々の記録を付けて当日の状況が分かるように細かく入力するようにしている。また、毎月の職員会議でも話し合い個人の記録を取るようにしている
	26	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		保護者の皆様にご協力いただき、面談をしながら定期的な個別支援計画の見直しを実施している
	27	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか	○		行っている
	28	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか	○		行っている
29	安全に運動遊びができるよう用具の使用法や支援方法等に工夫や配慮をしているか	○		常勤職員に関しては全員が運動指導検定を取得することで支援方法を統一しながら怪我や事故に繋がらないよう十分注意している。工夫及び利用者様の状況を配慮した支援を行っている	
30	お子さんの特性に合わせた支援方法を個々に工夫しているか	○		個別支援計画に基づいて支援をして、出来る事から補助しながら取り組んでいる。運動療育では、当日の利用者様の状況や状態、特性等を考慮しながら沢山の成功体験が積めるように工夫して支援している	

関係機関や保護者との連携	31	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか	○		必要に応じて、児童発達管理責任者が中心になり、相談支援員と連絡を取り合い、状況把握をしている
	32	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか	○		体制は整えており、必要に応じて対応している
	33	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			現在までは該当がないが、該当がでた場合は、主治医と連携を取っていく方針である
	34	与薬指示書の内容に変更等がないかなど、定期的に保護者へ確認をとっているか	○		現在常時与薬をする該当者がいない。風邪薬の与薬がある際には、必ず所定の投薬願書に記載して頂き保護者様に確認を取っている
	35	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		送迎時の受け渡しの先生に支援内容を含め「出来たこと」「頑張ったこと」などを報告するようにしている。また、各学校や園からも職員の見学を許可して取り組みを見て頂いている
	36	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	就学前に利用していた園とは必要に応じて相談員の方からの情報などを含めて共有するように心がけている
	37	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		学校からのお手紙やFAXなども駆使しながら情報共有を行っている。送迎時にも担任の先生と状況を共有している
	38	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			現在までは該当なし
	39	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか	○		日頃から連携を取り、電話や訪問をしながら情報共有を行う中で助言を頂くなどしている
	40	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		成田市地域自立支援協議会に積極的に参加して情報共有を行っている
	41	保育所や認定こども園、幼稚園等、放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか		○	地域の公園などの施設を利用して頂いた際の挨拶等で交流をしている。また、地域のお祭りは山車を応援しながら参加している
	42	連絡帳を作成し、保護者へ活動の内容や様子を共有できているか	○		連絡帳を連絡ツールとして毎回利用時には持参して頂いている。活動内容や利用時の様子については、連絡帳を記入するだけでなく、ブログや送迎時に報告をしている
	43	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時に支援内容を含め「出来たこと」「頑張ったこと」などを報告するようにしている。面談では今後の課題について話し合いをしている
	44	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	本部からの月毎のカリキュラム冊子を配布している。教室で実践している支援内容を伝えて自宅でも実践して頂く支援を行っているが、今後ご満足頂けるように適切に伝える努力をする

保護者への説明責任等	45	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時の説明ツールとして資料を提示して説明している。説明後のチェックシートに沿って実施している
	46	個別支援計画を作成する際には子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか	○		契約の際には契約時に、見直しの際には面談時に確認をしている
	47	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか	○		行っており、保護者にサインをいただいている
	48	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		困った事や悩み事がある場合にはすぐにご相談頂けるように保護者様には伝えている。また、助言に関して困った場合には相談支援員等にも相談しながら利用回数なども変更するなどして支援を行っている
	49	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、兄弟同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか		○	現在は実施していないが、今後検討していく
	50	子どもや保護者からの苦情、相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		運営規定への記載の他に、教室玄関への掲示、契約時にも資料提示とともに口頭でも説明している。面談時にも対応の体制などは説明させて頂いている
	51	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		利用希望表にイベント情報などを記載すると共に、ご回答いただく場合には保護者宛文書を作成して配布している。行事の報告はInstagramやブログ、LINE等で保護者様が活動の様子を確認出来るようにしている
	52	個人情報に十分注意しているか	○		契約時に利用者様との同意書の取り交わし、HPIに保護方針の記載の他、職員間の同意書、Instagram、ブログ作成時のWチェック等を十分注意して行っている
	53	HP等へ写真を掲載することについて、同意書等へサインをいただくなどして同意を得られているか	○		契約時に利用者様と同意書を取り交わし、説明を行い、同意を得ている
	54	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		視覚的に捉えやすくする為に、絵カードや写真を用いて説明を加えるなどの配慮を心がけている
55	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	地域の方を招待することが出来ずにいるが、玄関付近で活動している際には挨拶を交わしたりする交流は継続している。また、クリスマス会などでは近隣の企業様よりお菓子の寄贈をして頂くなどの交流を継続させている	
非常時等の対応	56	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		事業所内にマニュアルを壁掛けで設置して閲覧出来る環境を作っている。保護者には契約時の他にLINEやお手紙等でも定期的に配信、説明を行っている
	57	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		BCPは策定しており、定期的に行われる委員会にて見直しを行っている。月1回の教室内訓練（地震・火災・不審者対応）及び、消防本部に年2回届け出を提出して総合避難訓練を実施。定期的に行っており実施後は避難訓練プリントなどを自宅に持ち帰り、家庭でも日頃から災害時の対応を考えて頂くように工夫している
	58	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		職員は虐待発見時に上司への報告だけでなく、直に担当機関への報告することを研修に参加して、共有している
	59	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得たうえで、個別支援計画に記載しているか	○		身体拘束を行う事例がないため、サービス計画を作成する利用者もいない。ただし、身体拘束時の対処方法については事業所内で共有済み
	60	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○		契約時に確認している
	61	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		医師からの診断は保護者様を通してアレルギー食材等を個人調査票や緊急連絡カードを用いて共通理解して注意している。食物アレルギーの利用者様の場合は、持参物のみを食していただく対応をしている
	62	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか	○		安全計画は作成しており、定期的に見直しを行っている。また、研修も定期的に行っている
	63	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか	○		定期的にLINEにて配信している
64	ヒヤリハット記録を作成して事業所内で共有しているか	○		発生時の記録は当日に作成することにして、全職員で共有事項としている。月末に取り纏めて各事業所間でも共有を行っている	